

# 足守5地区愛育委員会 55年のあゆみ



近水園と吟風閣

岡山市足守5地区愛育委員会

# 岡山県愛育委員の歌

作詞 脇 太一

作曲 永礼 みのる



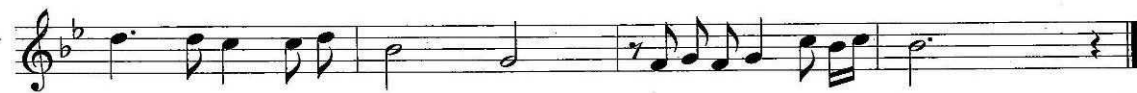
た まに も まさー る いとーしごーの



の びーゆく いのーち すこやか に



そだてる ちしきひろめつつ やさしいあいの はなとさーくあい



い くい いー ん は よのーひかーり

## 岡山県愛育委員の歌

作詞 脇 太一  
作曲 永礼 みのる

一 珠にもまさる いとし子の

のびゆく命 健やかに

育てる知識ひろめつつ

やさしい愛の 花と咲く

愛育委員は 世の光

二 みごもる母や ちのみ子の

体にいつも 気をつけて

健診接種すすめつつ

明るい明日の 幸を呼ぶ

愛育委員は 世の守

三 われ等のいとし ふるさとに

誠をささげ 手をつなぎ

希望にもえる 母と子の

しあわせ深く 招くもの

愛育委員は 世の力

# 目 次

## はじめに

ごあいさつ	1
お祝いの言葉	2

## あゆみ

歴代会長と主な出来事	8
歴代会長のことば	9
愛育委員会各地区会長より	15
各地区愛育委員より	17
足守地区愛育委員会のあゆみ	21
過去の総会資料から	30
献血の推進	31
愛育だより	32

## 現在の活動

足守5地区愛育委員会	34
主体活動	35
協力・共同活動	37
委託活動	37
その他の活動	38
環境衛生協議会の活動	40
平成18年度保健事業報告	41

## 資料

岡山市愛育委員協議会組織図	43
地区愛育委員会規約	44
管内人口・世帯数推移	46

## おわりに

発刊を祝して	47
編集後記	48

## ごあいさつ

足守5地区愛育委員会代表 西山 きよ子

足守地区の愛育委員会は昭和26年に発足し、今年度満55年を迎えることが出来ました。これはひとえに関係各位の皆様方のご理解とご協力によるものとお礼申し上げます。またこの長い歳月にさまざまなご苦勞をなさりながら愛育委員会を築き上げて下さいました諸先輩の皆様、各委員の皆様に敬意と感謝を申し上げます。

平成18年が55年にあたるので記念誌を出してみてもいいかなという声を掛けていただき、幹事会で検討したところ、今までの振り返りとして、また活動を見直す機会にもしたいという思いでとりかかるとにしました。皆が経験の無いことで、手探りで各地区の会長経験者を初め、日頃お世話になっている方々に原稿をお願いしたところ、快く寄せていただきました。私たちに大きな力を頂きまして、たいへん嬉しく心強く感じております。先に愛育委員をされた方々から、今の委員へのバトンタッチを言葉の上でも頂き、身の引き締まる思いがいたします。これからの活動が、少しでも地域の健康づくりにお役に立てるように、委員一同がんばっていきたくと思います。

発足当初は子供の数が多く、健診の手伝いが大変忙しかった様子が多くの方々のお話にありました。時代と共に少子高齢の社会になり、更に子供の数が減少し、高齢者の比率が増し、超高齢社会へと向かおうとしています。私たち愛育委員の役割も、子供たちを育むと共に高齢者が健康に過ごすためのお手伝いの比率が高くなってきています。家の中に閉じこもらず、外の空気を吸い、地面を歩き、親しい人と会話を交わしながら自ら健康に過ごせるようにしていくことが大事です。一人でも多くの人に話しかけ、また聞き役になることも大事なことです。

この冊子が地域の健康づくりのお手伝いなど今後の愛育活動に役立つことを願って、発刊のことばとさせていただきます。



## お祝いの言葉

55周年記念を祝して

社会福祉法人総社福社会 理事長 川田 敏幸

足守地区愛育委員会の創立 55 周年を心よりお慶び申し上げます。

足守地区は、自然と歴史の豊かなところで、足守川に沿って集落が広がり、夏は緑の稲が涼しげに風に揺れ、秋にはたわわに実った様子が見られ、人の心を和ませてくれます。

しかし近年、真新しい家も次々と建ち、他地区からの移住者も多くなり、核家族の家庭も増えてきています。昔のように隣近所で声を掛け合い、悪ければよその子も叱れる。こんな光景は失われつつありますが、幸いなことに足守地区はまだ残っていると思われれます。そして実際に、そのような時こそ伝統ある愛育委員の方が地域のみなさんの健康管理に、子育てに、親育てにと幅広くご尽力されていますことを感謝致しております。

私も、昭和 45 年に総社市にすみれ保育園を創設、そして足守に今は第二すみれ保育園と名称を変えましたが岡山市北保育園を創設し 31 年になり、平成 17 年 4 月からは、総社市で初めての公設民営の中央保育所も運営してまいりました。いずれの保育園も地域との交流を深める為の子育て支援センターを開設しております。第二すみれ保育園においては始めて 10 年になります。未来の足守を支える子どもたちを育てるという思いひとすじにやってまいりましたが、この思いは愛育委員の皆様と同じであろうと、支援センター発足と同時に愛育委員さんの会合に出席させていただくようになりました。年間行事の一つに入れてもらい、支援センターの日何人かの委員さんをご招待して、お餅つき、歯磨き指導、とんど焼きなど時期にあった行事に参加していただいていたのですが、昨年より、今まではご招待であったものが参加型となり、うちわシアターや、お母さんと一緒にお手玉作りをするなど知識や技術をいただきながら顔見知りになり何でも聞いてみようという雰囲気になりつつあり嬉しく思っているところです。また、保育園の子育て支援センターも年 1 回報告会をしておりますがこれにも出席いただいております。

このように、いろいろな面で気持ちよくご協力いただき日々感謝いたしております。今後も未来を担う子どもたちのために保育園としても尽力してまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいいたします。最後になりましたが、足守地区愛育委員会の益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



## 愛育委員さんの協力で実現した『かしおの集い』

元県立かしお園々長 鷹取 弘子

足守に岡山空港が完成し、瀬戸大橋が開通した年から、県立の軽費老人ホーム『かしお園』は『地域の人々にも利用して頂ける施設』への転換をはかり、足守地域の福祉の発展に寄与したいとの願いを抱いて施設の開放を模索しておりました。



そして、その願いを実現するために、最も力になって下さったのが足守地区の愛育委員会の皆さんでした。当時の足守地区の愛育委員会の会長さんをはじめ役員の皆さんは「それは良いことだ、協力しよう」と、かしお園の、めざすものに早速賛成して下さい、地域の人々と、施設入居者との交流の促進に大活躍して下さいました。愛育委員会、町内会、老人クラブ、婦人会、民生委員等地区組織の皆さんのご理解とご協力のお陰で『かしおの集い』は誕生し、かしお園と地域の人々との交流はスタートしました。

月一回かしお園に地域の高齢者をお招きして、かしお園の入居者と交流しながらの健康づくり、仲間づくり、生きがいづくりをめざして毎回知恵を絞って多彩なプログラムを準備しました。

1. 健康相談；健康についての学習
2. 趣味 ; 編み物、小袋作り、竹細工、藁細工、カラオケ、ダンス
3. オシャベリ
4. 入浴 ; 園の温泉施設利用
5. 昼食サービス；園の給食施設利用

などなど、また毎回スナップ写真を飾り、楽しかった思い出をお互いに語り合い、次回の集いへの期待につなげていきました。かしお園の桜の下でのお花見やバーベキュー大会、夏祭り、カラオケ大会、ボランティアさんによる壮大な太鼓の披露など、楽しいイベントも繰り広げられました。かしおの集いの朝「今日はこれで歌うからよろしく」とカセットテープを受け付けに預けて、いそいそと会場に急ぐ馴染みのKさん。「これがあるからひと月また頑張れる」と口々に喜んでくれる一人暮らしの高齢者の声。庭木の剪定をし、朝早くからお客様を待つかしお園のおとしより。活気に満ちていた『かしおの集い』が鮮やかに思い出されます。

足守地区の愛育委員の皆さんの、当日のいそいそとした、行き届いたお世話と優しさがとても嬉しく、いまもなつかしく思い出され、感謝の念に満ちています。

現在『かしおの集い』は思いでのなかで、生き生きとしていて、その後誕生した多くの老人福祉施設のデイケアとだぶっています。

## 記念誌発行に際しての“思い出”

前憩いの丘施設長 渡邊 憲之

岡山市足守愛育委員会（5 地区愛育委員会）は昭和 26 年に設立され、55 有余年の歴史と伝統ある活動と実績は、隆盛の域に達していると言っても過言ではありません。

5 地区愛育委員会長様の統率と指導は、各愛育委員相互の連携を密に、事業目的の完遂に向けて諸分野で活動を展開されました。また、全委員が組織を挙げ研究と研修等に取り組み資質向上が図られ、今日の重厚な事業活動の原動力ともなっています。

足守地区における人口減少、少子化、超高齢社会の到来等の課題が山積する中で、各会長様が率先してのご尽力は、地区の児童施設、老人福祉施設等に対する奉仕活動にも着手、各地区に根ざした健康と福祉の増進、公衆衛生、環境衛生等における活動により目覚ましい成果を上げられました。衷心より深謝を申し上げます。開設から今日までの 55 年間（ゴーゴー、前進のみ）、5 地区愛育委員会長様のご苦勞が絶えない毎日での貴重な経験と実績の積み重ねが、地区発展の礎となり前途洋洋、地区住民からも大きな期待が寄せられております。

末筆となりましたが、素晴らしい『記念誌』の発刊を心待ちに、岡山市足守愛育委員会（5 地区愛育委員会）会長様をはじめ、委員皆様のご健勝とご活躍、貴会の更なるご発展を祈念申し上げ、拙文を終わります。



憩いの丘全景（『憩いの丘 10 周年記念誌（S57 発刊）』より）

## 足守地区愛育委員会 55周年に寄せて

岡山市足守支所長 三宅 完司

足守5地区愛育委員会創立55周年を心からお祝い申し上げます。

足守5地区愛育委員会の皆様におかれましては、平素から足守中学校区住民の健康と福祉に関したいろいろな問題に取り組み、健康で豊かなまちづくりを目指し、積極的な活動を展開しておられることであり、皆様の熱意とご尽力に深く感謝し敬意を表する次第であります。

戦後新たに豊かな社会への復活をめざした昭和26年に発足され、55年の長きにわたりましての地域活動に取り組んでこられました皆様方のご苦勞にたいしまして、改めて感謝申し上げます。

本市におきましても、地域社会の安全・安心ネットワーク活動として子供からお年寄りまで全ての方々が地域と一体となった、支え合う地域福祉・地域での健康づくりなどに取り組んでおります。

こうした中での足守5地区愛育委員会は、本市との一体的な役割として重要な組織であると認識しております。

今後もますます大きな役割をはたされ、足守地区のさらなる進展に寄与していただけるものと期待しております。

終わりに、足守5地区愛育委員会の一層のご発展と委員の方々、関係者皆様方のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げまして、お祝いのご挨拶といたします。

岡山市立足守公民館長 大家 一朗

発足55周年を迎えられ、誠におめでとうございます。貴愛育委員会がスタートした昭和26年は、私が小学校に入学した年であり、記憶に深く残っています。

当時からの母子保健を中心とした活動に、成人・老人保健事業などが加わっての、幅広い献身的な取り組みに対して、心から敬意を表します。

これからも、健康で豊かなまちづくりのために、一層の活躍を期待申し上げますとともに、ますますの発展をお祈り申し上げます。

岡山市福祉交流プラザ大井館長 尾崎 達

健康で豊かな生活をめざして、日々地道な活動をしている足守5地区の愛育委員会が、半世紀もの長きにわたり、地域の保健健康増進に数多くの実績を積み重ねたこと、心より敬意を表します。少子高齢化が問題になっている現在、愛育委員さんたちのご活躍は、今後ますます重要になってきています。委員会のさらなるご発展をお祈りいたしますとともに、委員さんもお自愛くださいますようお願いしまして、御祝辞とさせていただきます。



岡山市大井児童館 児童厚生員 槇尾 真佐枝

足守地区愛育委員会発足 55 周年並びに記念誌発刊、誠におめでとうございます。

大井児童館では、毎年 5 月末に実施しております『歯みがき指導』をはじめ、日頃から愛育委員の方々に大変お世話になっております。『歯みがき指導』の際には手作りのペープサートやパネルシアターなど、心のこもった作品を子どもたちに披露していただくなど、いつも子どもたちのために惜しみないボランティア精神を注がれる皆様方に対し、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

また、育児相談や託児などでご活躍されるお姿も身近で拝見させていただき、その温かい眼差しが、子どものみならずお母さん方までも優しく包み込んでくださっていると感じております。子育てが難しくなったと言われるこの時代に愛育委員の方々の存在はますます重要になっていきますが、今後ともその優しい眼差しで足守地区を見守り続けていただきたいと切に願っております。

委員の皆様方のご健康と貴会のますますのご発展を心からお祈り申し上げます。

岡山市足守支所 地域振興主任 植月 康之

足守地区愛育委員会の発足 55 周年、誠におめでとうございます。

私は足守支所の環境担当として、微力ながら、皆様の活動をお手伝いさせていただきましたが、最初の総会の時に、女性ばかり 100 名を超える委員の皆様のパワーを前に、ただただ圧倒されたことを覚えております。

市内の他の地域を見ましても、愛育委員と環境委員を兼ねていらっしゃる地域はありませんが、愛育委員は心と体の健康を守り、環境委員は地球の健康を護るという役目があり、2 つの役割を兼ねて活動されることは、すばらしい発想と思います。今後とも、足守地域の人と環境を守るため、委員の皆様のみならずのご活躍と貴会のご発展を心からお祈り申し上げます。

岡山市保健所東保健センター 保健師 小野 克美

私は、足守地区を保健所移管前後の計 7 年間担当させていただきました。最初は、足守支所に配属で、地域の様子がまったくわからない所で、保健師一人ということで不安もあり、ご迷惑もかけたと思いますが、愛育委員さんをはじめ地域の方々と身近に接していただき、楽しく過ごさせていただきました。また、私自身は子どもの成長とともに過ごした時期でもありました。縁あって再度 2 年間担当させていただいたこともあり、第 2 のふるさとのようにも感じています。7 年間、いろいろと勉強する機会に恵まれ感謝しています。

今後の、益々のご発展をお祈り申し上げます。

岡山市西地域包括支援センター長 岡崎 久美子  
(前岡山市保健所北保健センター保健師)

この度、足守地域愛育委員会の 55 周年を迎えられ記念誌が発刊されますこと、心からお喜び申し上げます。また、歴代の委員の皆様のとゆまない熱意とご努力に、心から敬意を表します。

足守地域は少子高齢化がすすみ、市の北西部で面積も広く山の多い地形のため委員の皆様は活動するにあたり大変なご苦労があったことと思われませんが、きめ細やかな声かけ訪問や地区の状況に合わせた健康づくり運動、『健康市民おかやま 21』の推進など地域に根ざした活動をすすめるなど、地域の健康づくりにおいて大きな役割を担っていただいております。

地域の方々からも『健康で安心して暮らせる地域づくり』を目指して、地域に根ざした活動を期待しております。

足守地域愛育委員会の益々のご発展を心からお祈り申し上げます。

## 歴代会長と主な出来事

	年代	足守	大井	岩田	日近	福谷
S25 岡山県愛育委員制度誕生	S25 ~ S29	石原 朝賀	松田 明子	長尾ミユキ	荒木 君代	荒木 寿子
S26 足守町、大井村、岩田村、日近村、福谷村に愛育委員会発足	S30 ~ S34			國定 石子	明楽 倫子 赤木 初枝	光森美野子 藤原 幸子 大角フサコ
S31 5か町村が合併し新制足守町誕生 (S33合併に伴い15愛育委員会統合)	S35 ~ S39	織田 とも	乗金貴志子 岩月和代	中津 久子		津嶋 静子
S35 環境衛生委員を兼任						
S36 国民皆保険制度開始	S40 ~ S44		三宅 千春	國定 町子		
S46 岡山市に合併	S45 ~ S49	林 スミエ				
S47 憩いの丘でのボランティア開始						
S53 足守地区愛育委員会が献血で厚生大臣感謝状受賞	S50 ~ S54					
	S55 ~ S59				中尾 和子 田中 綾子	
		的場 時子				
S63 かしお園との交流始まる	S60 ~ S63	赤木多喜子	田上 秀子 関 典子 本田 敏子	明楽 京	萱野 輝子	
H4 足守地区愛育委員会が献血で厚生大臣表彰受賞	H元 ~ H4					氏川多美子
H6 岡山市が保健所政令市に移行(5委員会に再分離)	H5 ~ H9			笹井富美恵		
H10 北ふれあいセンター開設	H10 ~ H14				小西 慶子	大月 安子
H12 介護保険制度開始						田口 伸子
H14 健康市民おかやま21策定(足守会議発足)	H15 ~			林 恒子	荒木 典子	西山きよ子

## 歴代会長のことば

足守地区 的場 時子

昨年暮れに、赤木さんから原稿の依頼がありました。私にとりましては、何で今頃と思います程、遠い昔のことなので、記憶も定かではなくなっております。

初めて愛育委員をお受けいたしましたのは、昭和42、3年ではなかったかと思えます。私もまだ若くて30代の頃でした。あの時代は愛育の行事もかなり多くて、その中には胸部レントゲン台帳作製の依頼の為に、町内の各戸をお訪ねして歩いたり、又、レントゲンの受診をお願いしたり等の仕事もありました。その時「こんな事はプライバシーに関する事ではないか。」と大変なお叱りを頂き驚きましたが、これも私の未熟さ故に、言葉も又今少しの心くばりが足りなくて、ご迷惑をおかけしたのかも知れないと、大いに反省したこともありました。薬剤配布、検便回収、その他のもいろいろありましたが、私が特に楽しかったのは、乳児健診のお手伝いでした。あの時抱っこした赤ちゃん達のムチムチの肌の感触は、部屋中に響く大きな泣き声と共に、今でも思い出すことがあります。

月日が過ち予測もなく、足守学区の会長の役が何故か私の所へ来てしまいました。私にとりましては、余りにも荷が重くて、心配ばかりの任期だったと思えます。私が途方に暮れている時に委員さん達に励ましていただき、暖かく助けてくださった事が、私にはとても大きな支えになりました。会長は只一期のみの短い間でしたが、当時委員の皆様から、数々の優しさを頂きました事は、今でも心から感謝致しております。本当に有難うございました。

末筆になりましたが、足守愛育委員会の今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

大井地区 故松田 明子会長のこと

初代会長を務められました。地域の人々の健康を守るため、ヘルスボランティアとして保健衛生の向上に尽力されました。当時は食糧不足で栄養状態が悪く、河原の畑で野菜を作られていたそうです。また、環境衛生の始まりの頃に寄生虫の消毒に協力されていました。(ご近所の方にお聞きし本田が記載)

大井地区 故乗金 貴志子会長のこと

助産婦でもあった乗金会長は地域の指導者として活躍されていました。愛育委員と一緒にお母さんたちを集めて、人工妊娠中絶をなくして母体保護を図るための家族計画の重要性を説いたり、赤ちゃんを母乳で育てるための勉強会をされたそうです。(ご近所の方にお聞きし本田が記載)

大井地区 岩月 和代

愛育とは、可愛がって大事に育てることだと思います。

委員とは、団体の中で選ばれて特定の事柄に当たる人だと思います。

お若いお母さんの育児、また一般の人の健康についても勉強しました。その中で健康優良児の親子さん達と、写真を写し、その子供さんが今は立派な社会人となり、立派な職務についていらっしゃるのを見て、幸福に感じています。

遠く過ぎし今、愛育をしてよかったと、思っています。

大井地区 田上 秀子

固辞し続けていた重責を引き受ける事となったのは、もう 20 数年前になります。記憶が少々薄れましたが、当時の主な仕事は、乳児健診のお手伝い、役員会、健診時の受け付けだったように思います。

11 月初旬には婦人科検診がありましたが、現在とは違い、受診する人が少なかったようです。呼びかけた当の私も、お産以来婦人科検診には足が遠のき、責任上受診したのを覚えています。結果は再検査、卵巣腫瘍が見つかり、手術と 50 日程の入院生活を経験しました。

それ以来、検診の重さを痛感し、毎年お世話になっています。

岩田地区 國定 町子

この度愛育委員協議会発足 55 年の記念誌をお作りになり真におめでとうございます。私こと、20 数年間、愛育委員の一員として活動に参加させていただきました。今もよき思い出として残っております。当時はすこやかな赤ちゃんの成長を願って母子保健、岡山市が行って下さる各種検診の連絡、受診のおすすめ、検診時のお手伝いなどを重点に活動を進めて来ました。やがて少子高齢化の時代がやって参りました。

高齢者の方へのご奉仕もと思い、老人ホームへお邪魔してお手伝いもさせていただきました。

昭和 35 年代に事務局（足守支所総務民生課）の方から環境衛生協議会も併せて担当してほしいとのお話があり、熟慮の結果、担当させていただく事にしました。殺そ剤、害虫駆除用の乳剤も配布致しましたがその当時は道路の周辺にジュースの空き缶が散乱し悩みの種でございました。委員みんなでポイ捨て防止の標語を考え、それを立札に書いて道沿いに立てました。乏しい予算で一本ずつ増えて行くのがたのしみでした。他の地区から足守の取組を見に来て下さった方もおられたとか聞いております。

この様に委員みんなが心を一つにして活動していくことができましたのも、先輩の方が残して下さった業績、地域の皆様のご理解、事務局の方、保健婦さんのご指導ご支援があってこそと思っております。厚くお礼を申し上げます。

昭和 50 年頃だったと思いますが、愛育委員会足守地区で厚生大臣賞をいただきました。その時の意見発表の原稿が出てきたので懐かしく読み返してみました。当時は

人口 9,023 人で 2,459 世帯。結核にかかったお年寄りがお孫さんの守をしていて、孫も感染してしまったことなどから、検診の大切さを事あるごとに PR して受診率を高めることが出来たことなどが書いてありました。

末筆になりましたが、愛育委員協議会の一層のご発展と委員皆様のご健康をお祈りして擱筆いたします。

岩田地区 笹井 富美恵

久し振りにペンを取らせていただきました。この度は愛育委員 55 周年を迎えられておめでとうございます。私も昭和の中頃から愛育委員を務めさせていただき、平成 14 年 3 月まで皆様方と楽しくお仕事をさせていただき、良い思い出となりました。ほんとうにありがとうございました。

これからも愛育委員会がますます発展せられます事をお祈り致しまして簡単では御座居ますが失礼致します。

日近地区 荒木 君代

この度は愛育委員会発足以来 55 周年を迎えられ誠にありがとうございます。発足当時昭和 33 年頃は、この辺りは吉備郡足守町でございました。

当時の黒瀬町長より委嘱状を頂き、日近地区 10 人が任務に就きました。愛育とは『可愛がって育てること』と辞書にもあります様に、主に乳幼児の方々の成長に力を注ぎました。また、環境衛生等にもそれぞれに尽くしました。当時は乳幼児の方々が多くいらっしゃったので、日近小学校をお借りして、毎月健診を行っていました。身長、体重測定をし、記録を残しました。又お医者様にも時々お願いし、保健婦様にはその都度心暖まる助言を頂き乍ら、委員としてのお役目に励んで参りました。そして解散の後、親睦をかねて、持ち寄りの材料によるお寿司、カレー等作り、賑やかに一日を過ごした事など記憶に残っています。振り返ってなつかしい思い出でございます。

赤木多喜子さんは要職におつきになられ、豊饒(かくしゃく)としていろいろな重い責務をこなして居られます事、そのお姿には敬仰申し上げます。委員の皆様にも大いに頑張ってくださいている事、有難く存じます。

この原稿を書き終えて、今昔の感ひとしおであることを深く感じました。

日近地区 赤木 初枝

昭和 26 年、まだ日近村だった頃、10 人で愛育委員会が発足し、私もその中の 1 人として参加いたしました。当時の仕事は、乳幼児健診と、保健婦さんのご指導の下、月 1 回行われる育児相談が主なものでした。

昭和 35 年には環境衛生協議会も愛育委員会の仕事として任されるようになり、仕事の内容も増してきました。

その後、足守町、岡山市と合併して活動範囲も広がりましたが、当時の岡山市の新生児の死亡率の低さは全国有数まで伸びたと記憶しております。当時は現在のような車社会ではなく、会合等への参加にも不便が多く、役所の担当者の方々にも種々お世話になりました。

約 28 年間の担当当時のことを思い返しますと、非常に懐かしさもありますが、私が引退してもう 30 年近くになり、記憶も次第に薄れて参りました。今は、愛育委員の皆様のご健康、ご活躍と委員会の益々のご発展をお祈りして、お慶びの言葉に代えさせていただきます。本当におめでとうございます。

日近地区 田中 綾子

昭和 44 年 4 月に愛育委員をお受けしました。育児相談や結核レントゲン検診など当時の記憶は定かではありません。長い間お世話をしてくださいました赤木初枝さんが昭和 55 年にお辞めになりました。中尾和子さんが引き継がれましたが、その年に病気で亡くなりました。その後を私が引き受けることになりました。

市役所での保健衛生大会や環境の方では勤労者福祉センターへ連れ立って駅前から歩いていきました。憩いの丘へおしめたたみの奉仕に始めて行った時、施設の中を案内してくださいました。私は昭和 63 年 3 月に退きました。思い返せば集団検診の時は皆さんにお会い出来るのが楽しみでした。今は健康手帳をお手元にそれぞれ受診されているようです。

地域の皆さんが健康で明るい生活が出来ますようお祈り致します。

日近地区 萱野 輝子

昭和 63 年から平成 9 年までお役をさせていただいたように思います。

振り返ってみて心に残っている地域活動は、平成の初期頃、住民検診の受診率を上げる為『声かけ運動』をとりいれ推進に努力したこと、母子クラブとの交流でクリスマス会に愛育委員扮装のサンタさんが登場してプレゼント等する楽しい集いに参加していた事等でしょうか。

5 地区合同の活動としては足守公民館を会場に『健康フェア』が盛大に開催され(平成 4 年 5 年頃)、様々な健康に関するコーナーを設け、特に『健康チェックコーナー』等は大好評で大いに地域住民の健康づくりのための啓蒙になったのではないかと思います。また、県立かしお園での地域高齢者とのふれあいを目的とした『かしおの集い』が毎月開催され、私達はお弁当作りのお手伝い、そして私達自身もいろいろな行事に参加して楽しませて頂いていたこと等、割合に活発に楽しく活動していたように思います。

ストレスの多い現代社会、愛育委員活動の必要性は増々求められるのではないのでしょうか。どうぞ“ほほえみ”と“いたわり合い”の心で地域の方達をやさしく見守って頂ければと思います。

日近地区 小西 慶子

この永い人生の中で、人それぞれに求めるものは違うと思いますが、私にとって愛育委員という役は、生きることの目的に添った楽しいことの一つでした。健康を維持するために学び、病気を予防するために努力する手段と方法を具体的に教えていただき、皆様にお伝えして一緒に頑張ることで一人では挫けそうになる心を支えてもらったり、訪問の時には「ありがとう」と言われて快いふれあいが出来て、ほんとうに充実感を持ったものでした。力不足を感じながらもさまざまな勉強をさせて貰ったことを感謝し少しでも誰かのお役に立てたと思えたことは、今も心の糧になっており幸せです。

福谷地区 荒木 寿子

足守地区に愛育の発足した昭和 26 年から会長をさせてもらいました。乳児健診や育児相談が主な仕事でしたが、当時は子供が大変多くお世話をするのに若い人でないと務まりませんでした。生野松野さんは副会長として家族計画の指導をして下さっていました。おしっこをかけられながら健診の手伝いをしたものです。苔山の山頂近くに家があり、雨の中を出かけていき、おなかの具合が悪くなり困ったことも思い出します。健診には医師や手伝いの人の弁当も作っていました。役場から見学の旅行に連れて行ってくださるのも楽しみでした。また当時はピアノを 100 人くらいに教えていましたので、忙しい毎日でした。(自宅を訪問して話をお聞きし西山が記載)



福谷地区 光森 美野子

中山先生に旧福谷役場で乳児と 3 歳児健診をしてもらい、受付や計測の手伝いに出していました。愛育活動には様々な苦労もありましたが、今では懐かしい思い出です。(自宅を訪問して話をお聞きし西山が記載)

福谷地区 大角 フサコ

愛育の会長をさせてもらい、よく勉強をさせてもらいました。長島愛生園への慰問と見学、知的障害児の施設や老人保健施設に行きました。施設の方はしんぼう強くお世話されており、感心しました。旧福谷役場で乳児健診と育児相談があり、交代で手伝いに出していました。また、健康優良児の表彰があり一緒にお祝いさせてもらいました。



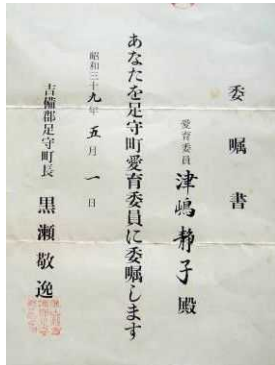
会合の時にはみんなで弁当を作ったこともあります。前会長の生野さんはお箸でご飯をなるめておられて衛生的で感心したものです。

愛育委員に岡嶋さんがおられ、障害を持たれた娘さんの将来を案じて、同じような子供さんのためにも施設を作りたいと土地を提供され、昭和 43 年にももその学園が開設されました。(自宅を訪問して話をお聞きし西山が記載)



福谷地区 津嶋 静子

育児相談はコミュニティーで行っていました。電話をかけたなり、呼びに行ったり、委員さんがよく手伝いに出てくださいました。また相談にも乗ってくれていました。子宮がんと乳がん検診は、吉備病院で部落ごとに受けていました。



昭和 33 年頃の赤痢の集団発生では、家の消毒について回りました。また、空き缶拾いにも出ていました。お菓子を片手にみんなで一緒に歩いたのも懐かしい思い出です。空き缶で袋がいっぱいになったら道ばたにおいて、主人に集めに来てもらっていました。岡山市長から環境の功労者としての表彰をしていただきました。

現在もご主人のお世話をしながら、とてもお元気に大正琴、木目込み人形、ちぎり絵などを楽しまれています。(自宅を訪問して話をお聞きし西山が記載)

福谷地区 氏川 多美子

私が委員を受け継いだ頃は、一人の委員さんが愛育と環境の両方を受け持っていました。愛育委員の仕事は育児相談、献血、胸部レントゲン、胃検診等の手伝いでした。

環境衛生では缶拾い、乳剤配布、殺そ剤配布等の手伝いでした。5地区一緒になって幹事会、かしお園での地域交流の手伝い、健康フェスタ、愛育だよりの発行等をしました。市に合併して、北エリアと成り、旧市内へと出かけて行くように成り、数多くの思い出を作らせていただき、ありがとうございました。

福谷地区 大月 安子

地区委員会に集まった方が、配布物を持ち帰って下さった。委員の皆さんが協力してくださってありがたかったです。ウジ殺しの乳剤を一斗缶でもらっていたので、小さな瓶に分配して各戸に配っていた。これは大変だった。支所の方にもたいへん良くしてもらった。会長をさせてもらって2年間いろいろな方と交流が出来たことは良い思い出になっています。(自宅を訪問して話をお聞きし西山が記載)

福谷地区 田口 伸子

健康教育、検診、子育て支援交流、研修会又環境衛生大会と様々な活動に参加し勉強させていただいた2年間でした。共に協力、活動して下さった地区委員の皆様、色々と助けていただき本当にありがとうございました。

## 各地区会長より

足守地区会長 赤木 多喜子

私は、昭和 32 年より足守町役場へ国保保健婦として奉職させて頂きました。以来、昭和 57 年まで愛育委員さんに大変お世話になりました。昭和 34 年頃から育児相談・乳幼児健診を実施する様になりました。また、母体保護のため、家族計画・人工妊娠中絶を無くす為に、小部落で委員さんのお宅や公会堂等で座談会を開く会場の準備等をして頂きました。手計りを持って、赤ちゃんのお宅を訪問して体重測定をして、台帳に記入して頂きました。

乳幼児健診で赤ちゃんコンクールを 10 年位続けたと思います。母乳栄養の呼びかけもこの頃でした。昭和 38 年頃には、心臓手術が必要な方がおられ、献血を呼びかけて生血を採らせて頂きました。以来毎年、献血を呼びかけて協力して頂いております。

昭和 57 年より、私も愛育委員の一人として仲間入りをさせて頂きましたが、公民館に勤務させて頂いていましたので、なかなか自由には動けませんでした。昭和 59 年から副会長、昭和 61 年から会長を引受けて現在まで続けさせて頂いております。この間、思い出に残るのは、公民館全館での健康フェスティバルでした。歯医者さんまでご無理を云って協力して頂きました。憩いの丘へのおしめたたみ、かしお園への地域との交流会、お弁当作りのお手伝い、いろいろの行事に仲間入りさせて頂きました。

母子が主体の愛育活動も、時代と共に大きく変化して参りました。現在は『自分の健康は自分で守る』を目標にかかげて“健康市民岡山 21”の一委員としても頑張ってお参りたいと思います。

私も、振り返れば 50 年という長い間、皆様と共に、お世話になりながら過ごしてきました。本当に有難うございました。今後とも皆様方のご指導ご鞭撻をお願いいたしますと共に、今後益々のご発展と地域の皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。

大井地区会長 本田 敏子

私は、昭和 39 年に会社を退職し、友人も近所との交流もない中、7 月に長男を出産しました。毎月育児相談に連れて行き、沢山のひとと出会うことが出来ました。赤木保健師さんや愛育委員さん達の指導で病気もなく、昭和 40 年には健康優良児の表彰を受けました。それぞれの子供たちも大きくなった昭和 58 年に、愛育委員の打診があり、下の子供が小学生で子育ての勉強になればと引き受けました。何もかも分からなく力不足のために、ご迷惑をお掛けしたことも有り、地域の方に助けられました。

第 7 回岡山市健康づくりの集い(平成元年の保健衛生大会)には、会長さんが集まり衣装作り、踊りの稽古と当日まで大変でしたが、懐かしく楽しい思い出です。平成 3 年頃、会長会を足守近水公園が会場となり市内の会長さんを招待しました。お昼の

手作り弁当を作るため食料の買い出しに行き、良い品物を選び、また魚はかしお園にお願いして買って焼いてもらいました。川田市議さんや足守支所の職員さんまで来ていただき、当日になって天候が悪くなりテント張りまでお手伝いしていただきました。多くの参加者があり、故片山雅恵会長さん達も大変楽しみ喜んでお帰りになりました。

県立かしお園でのかしおの集い、高齢者との交流、お年寄りのファッションショーでは高島屋より衣装の提供があり（前日には衣装合わせ）それはそれはきれいな晴れ舞台でした。毎月のかしおのつどいには100人近い弁当を作り、手を赤くして握った愛情おにぎりを、お年寄りのみなさんも喜んで食べてくださいました。ふれあいの中から、お年寄りの寂しさを知り、また、教えられることも沢山ありました。毎月お会いするのが一番の楽しみでした。

先輩たちが礎を築き大切に培ってきた55年。苦労も多かった事と思います。愛育の心は時代が変わっても、地域の人と支え合い育ち合って、高齢になっても健康で生活できる住み良い町おこしに取り組んでいければと思っています。地域の一人として自らの健康について知識を深めながら子育て支援し、保・小・中学校と共に『愛の一声あいさつ運動』も行い、ふれあい運動の輪を広げています。必要な時には相手の身になって考え、他の団体とも交流し地域に合った活動をして行ければと思います。今後ともご指導をよろしくお願いします。

岩田地区会長 林 恒子

足守地域愛育委員会発足55周年を迎えることが出来まして心より有難く思います。私事ですが、元足守町長矢吹清忠様より昭和45年4月1日付にて委嘱状を受け取りました。それ以来未熟ながらもヘルスポランティア活動の一端として過ごしております。子供が幼少の頃、保健師さんや地域の愛育委員さんに大変お世話になり、有難く思ったことが今も心に焼き付いています。地域のために少しでも恩返しが出来ればと思う気持ちには変わりはありませんが、力不足でお役に立つことが出来ず心苦しく思います。

母と子の健康づくりから始まった愛育委員会も社会情勢の変遷に伴い大きく変化しており、現在は皆で支え合い連携をとり健康市民岡山21が目標に掲げられております。愛育委員もパイプ役として頑張りたいと思います。55年の長い歳月を築き上げて下さいました行政、諸先輩、関係各位の皆様方に敬意と感謝を申し上げます。

今後とも、ご指導、ご鞭撻をお願いすると共に、地域の皆様方のご健康を心よりお祈り申し上げます。

日近地区会長 荒木 典子

自宅から勤務先だけの往復で、地域のことを何も知らない私が、何か出来ることがあるのならと愛育委員をお受けしました。集団検診で地区の方に接し、一人でも多くの方が自分の健康に関心をもっていたらとの思いでいっぱいでした。私自身、月1回開催されている『近水ウォーク』に参加し、季節を感じながら足守の名所を探

索しています。心がゆたかになり、多くの人達との出会いもあり、毎回楽しみです。  
『健康で長生き』につながるネットワークづくりが出来たらと思っています。

福谷地区会長 西山 きよ子

今年で5年目。地域の健康ボランティアという気持ちで続けていますが、いろいろな方との出会いがあり、為になる話を聞かせてもらう機会が多く有難いと思っています。ずっと以前は箱に入れた検便も集めていた。また、「愛育委員になったために子宮がん検診を受けるよう誘ってもらい、子宮がんが発見されて治療を受け、75歳の現在も元気です。」という話を聞き、愛育の深い意味を改めて教えられました。

### 各地区委員より

足守地区副会長 難波 睦子

足守地区に愛育委員会が創立され、半世紀以上の歳月が過ぎ、その間、地域の皆様と共に歩んでこられた事は、誠に喜ばしい次第です。私の担当地区は初代会長の石原朝賀さん、3代目会長の林スミアさんと、立派な先輩方の出られた町内です。若い頃より様々な愛育の活動を、よく見てきています。

今でも、40年前に乳児健診でお世話になり長男が健康優良児に選ばれた事等々、走馬燈の如く脳裏に浮かんできます。

私は、赤木会長の下に、お手伝いをさせて戴いて居りますが、何も出来なくて恥ずかしく思っております。でも、赤木会長並びに33名の足守地区愛育委員の皆様にご助けられ、どうにか今日という日を迎えることが出来ました。これからも皆様方のご指導ご協力をお願い致します。

元足守地区委員 埜真 民子

この会が、元岡山県知事の故三木行治氏の提唱により発足されたとお聞きしたことがあります。県民一人一人が、明るく元気で健康な家庭生活を送れるようにとの、愛育委員会活動に、私も昭和48年より参加させていただきました。何のお役にも立てなかったことを悔いています。

先輩役員の皆様にご助けいただきまして、平成16年3月まで努めさせて戴きましたが、その間には、岡山市愛育委員会より表彰状を、また、岡山県環境委員会より感謝状を戴いて身に余る光栄でした。これは、地区の皆様のご協力と、先輩諸氏のご援助のお陰だったと、今でも大変嬉しく思っております。

足守の愛育委員会の益々のご発展をお祈り申し上げまして、お祝いの詞にさせて戴きます。

足守地区委員 杭田 裕江

愛育・環境のお手伝いをさせて頂いて、20年が過ぎました。各種集団検診や回覧、受診のおすすめ等や環境でのゴミ問題等に声をかけさせて頂いたりしながら色々勉強させてもらいました。今後も出来るかぎり地域の皆様の健康のお役に立てればと思っております。

足守地区委員 難波 倫子

愛育・環境衛生協議会委員としてお世話をさせて頂いて、20年余りがたちました。集団検診や、環境では不法投棄など色々見て勉強させてもらいました。今後も地域の方々の健康増進に微力ながらお手伝いが出来ればと思っております。

足守地区委員 金谷 千代子

40数年前、子育てで右も左もわからない私を、乳児健診で、いろいろお世話になりました。そのお返しにと思い、愛育委員をさせて頂き20年が過ぎようとしています。これも皆様のご協力のお陰です。

足守地区委員 上村 恵美子

子育てが一段落した時愛育委員をして貰えないかと言われ、気が付くと10数年が経っていました。愛育の仕事を通して健康について教えていただくことが多く、それを地域の方々のお役に立てればと思っております。

元大井地区委員 高坂 愛子

愛育委員が出来早55年になりました。私の子育ても50年前近くになります。昔々の話です。「育児相談に行こう。」と声を掛け、暑い時も寒いときもおんぶしてバックにおしめを持って、大井の役場まで近所の人と歩いて通ったものです。その頃は赤木保健婦さんでした。いろいろと教えていただき、相談したりとても良かったです。1才になると、健康優良児なんかもありました。我が子は残念ながらなれませんでしたけど。

その頃は、祖父母、父母、私夫婦と子供で四世代の大家族でした。にぎやかで楽しかったです。それが今は核家族になり、少子化で近所隣老人ばかり。私宅にも大きな大きな赤ちゃん(98才)がいます。いつまで世話出来るかと思っています。

私はこれからも生きていく限り『可愛いおばあちゃん』でいたいと思っています。

元大井地区委員 伊丹 春子

アツという間に15年愛育を務めさせて頂きました。本当に有難うと心から御礼申し上げます。そして毎日草取りやら草刈りをしています。時々、耳の遠くなった主人と大声でけんかをしながら楽しく暮らしています。

本田会長さん、林さん、お二人一緒に皆様のお世話をして本当に有難うございます。よろしくネ。

元大井地区委員 柏野 洋子

昭和40年から愛育委員という重い役目をもらいました。私にできるか心配しながら、一年一年少しずつしているけどだんだん一年間のすることがわかってきました。愛育委員の用事は、育児相談、3歳児健康診査、胸部レントゲンの手伝い、夏・冬に殺虫剤配布でした。子どもが多かったので、手伝いに出ることが多かったです。昭和42年に長女が3歳児健康優良児の表彰をもらいました。

年月が経つのは早いものです。いつの間にか20年がきていました。昭和60年に20周年の表彰をもらい、平成11年には愛育委員連合会長表彰をもらい、平成12年には35周年の市長表彰をもらいました。

愛育委員をしていたから、基本健康診査の話聞き、私も受診しなければと思い昭和52年から全部の検診をかかさず30年受けていました。受けていて良かったです。大腸がん検査で、ポリープが見つかり助かりました。検診はしなければなりません。皆さんも検診は欠かさず受けてください。

大井地区委員 守谷 稠子

現在は、少子、超高齢化が進む中での愛育委員の役割は、ずいぶん変化したと思います。

乳幼児健診と言えば、スタッフの方が多かったり、以前は胸部レントゲン検診と言えば2列に並び待ち時間もありませんでしたが、さて現在はどうか？

1カ所で出来る便利さ優先に、どんな形でもよい、一人でも多くの方々の検診と健康増進の向上を呼びかけたい。

年1回の、移動研修は家庭を離れての勉強会は、企業努力では只呆然と聞き入る自分の姿、出来る限り参加し自分を磨きたい。

岡山市愛育委員協議会結成40周年に表彰式に居合わせられた感動は、特別なものがございました、有難うございました。そして、今まで支えてくださった地域の方々、また地区愛育委員会長様に感謝し、結びの言葉と致します。

元岩田地区委員 藤原 作江

足守愛育委員結成55周年、誠におめでとうございます。愛育委員の皆様は、戦後の焦土の中から、育児相談、環境保全活動、集団検診と幅広く、我々の生活に手をさしのべて戴きまして、無事子育てが出来ましたこと、感謝しています。急速に進む少子高齢化に伴い、この岩田地区は公共事業も中央に行き、活動も困難になりますが、どうかこれからも、ご自身の健康に十分気をつけられて、地域の福祉向上のために、さらなるご尽力を賜りますことをお願い申し上げます。

岩田地区副会長 神原 京子

岩田地区の愛育委員 14 名は、由緒ある『愛育塔』の前に集いました。岩田子供園開設当時の愛育委員の方々の子供園に対する理解と思いやりのある活動は、大変熱心であったと伺っております。

私たち現在の愛育委員も、地域の皆様の健康の維持・増進に努めなければならないとの思いを強く致しました。

岩田地区委員 時信 昌子

足守地内の一角にて、ただ名前のみの一委員として、いつしか 19 年目になり、先般、岡山市から表彰を受け光栄でした。振り返ってみましても、何らお役に立てた思い出もなく、恥ずかしくなるようです。

創立以来の会長様や幹事の方々のご苦勞はもとより、愛育委員会は全員が委員であり、更に長期に亘る役職を勤められる方も多く、ボランティア精神で努力されている姿に改めて敬意を表します。足守地域も高齢化と少子化の中で愛育活動も本来の子育て支援をどう進めていったらよいのかが問われていると思います。友達や兄弟の少ない中で、自主的に正しい判断の出来る、たくましい子供に育ててほしいものと思います。

岩田地区委員 金安 稔子

少子・高齢化が進む中で、これからはますますお互いの思いやりの気持ちを大事にしていけたらよいと思います。

岩田地区委員 時光 由紀

岩田の自然豊かな山里を住み良いところにするよう活動しています。



## 足守地区愛育委員会のあゆみ

### 愛育委員会の発祥

昭和 8 年 12 月 23 日に今上天皇陛下がご誕生になりましたが、翌 9 年のお誕生祝宴の祭に、昭和天皇より、日本国の児童と母親に対する養護のための資金を下さいました。関係大臣の協議により『恩賜財団愛育会』を創立して、当時はほとんど顧みられない状態にあった母子の保健と福祉のための事業をすることになったのです。その事業の一つが、乳児死亡率を低下させるための村ぐるみで取り組もうとする愛育村の普及であり、愛育班活動の推進でした。

この会で、昭和 11 年から全国規模で愛育村の指定をして、活動をするようになりました。

岡山県では、かつて厚生省公衆衛生局長であった故三木知事の政策として「公衆衛生行政は、行政と住民が一体的に推進してはじめて成果があがるものだ」との信念から地域組織活動が全県下に広げられ、昭和 30 年に岡山県愛育委員連合会が誕生しました。

岡山市愛育委員会は、昭和 20 年代から現支所の地域をはじめとして、昭和 38 年 12 月までに 34 地区が発会し、活動を開始しました。そして、昭和 40 年 3 月には岡山市愛育委員研究協議会が結成され、34 地区委員会が一つにまとまりました。

昭和 45 年～46 年の周辺町村の合併により 61 地区となり、昭和 46 年に研究協議会は、協議会に改められました。その後、地区愛育委員会は、小学校の学校分離に伴い、平成元年 4 月には 70 地区となりました。平成 6 年 4 月、岡山市への保健所移管を機に組織の充実と強化を図るため、9 支所の 21 地区を独立させ、かつ、1 協議会 6 地域別愛育委員会連絡会(地区数 91)に体制の再編を行いました。

### 足守の愛育誕生

足守では昭和 26 年に愛育委員会が発足しました。当時の三木行治県知事が県下で愛育委員 5,500 人を委嘱したのです。当初は足守町、大井村、岩田村、日近村、福谷村でそれぞれ発足したのですが、5 か町村合併を契機に足守地区全体で協力して活動するようになりました。委員数は 65 名でしたが、環境委員を兼任する事になって、100 名に増員されました。

### 環境衛生協議会も担当するようになった経緯

昭和 32 年と 34 年に足守町で赤痢が集団発生しました。まだ食糧不足で栄養状態が悪く、衛生状態も悪かった頃です。地区内の家庭の消毒が急がれたのですが、当時は環境衛生協議会を男性がしており、昼間は不在がちのため消毒が思うように進みませんでした。その後、昭和 35 年に愛育委員を増員して環境衛生協議会も引き受けることになり今日に至っています。



昭和 26 年～昭和 30 年代

活動の変遷	昭和 26 年に足守地区（足守町、大井村、岩田村、日近村、福谷村）それぞれに愛育委員会が発足する。 昭和 34 年から育児相談、乳幼児の予防接種に協力する。 昭和 35 年から環境衛生協議会も併せて担当する。
社会的背景	昭和 25 年の岡山県では、乳幼児死亡率は 62.1%、妊産婦死亡率は 19.8%、と全国平均を大きく上回っていた。 昭和 31 年に 5 町村が合併し新制足守町が誕生した。 昭和 32 年と 34 年に赤痢が集団発生した。



S32 年 健康優良児表彰  
（各地区で選ばれて、  
足守町役場で表彰）

S32 年当時の委員  
（乳児健診の時に日近小学校で撮影）



S38 年 岩田子供の園のクリスマス会  
の料理を愛育で作りました。



福谷村愛育発足当時の写真  
(当時は若い委員が多かった  
ようです。)



長尾ミユキ先生

岩田地区に長尾ミユキ先生と言う立派な指導者がおられました。

幼児教育に力を注がれ文化的で健康な児童を念願し、母子の幸福を考えられて昭和26年9月に愛育活動として幼児の健康管理を目的に、女史自宅を開放し保育活動を開始されました。愛育委員、婦人会の皆様が、長尾先生を中心として、多年にわたり協力しました。

昭和 40 年～昭和 50 年代

活動の変遷	昭和 46 年に岡山市への合併に伴い、岡山市愛育委員協議会に加入する。 母子保健中心から老人保健へも活動が広がる。 おやこクラブへの支援（歯みがきや栄養の講習など）を強化する。 憩いの丘創立に伴いボランティア（おしめたたみ）を開始する。
社会的背景	昭和 40 年に母子保健法が制定された。 昭和 58 年に老人保健法が施行された。



S40 年代の乳児健診の様子  
（『町勢要覧あしもり '71 合併記念号』より）

S40 年度春季  
足守町 1 才児健康優良児表彰



S41 年 足守地区健康優良児表彰



憩いの丘でのおしめたたみ  
（写真は現在の様子）

憩いの丘の創立に伴い、おしめ  
たたみのボランティア活動を始め  
ました。

当時は大きな乾燥機から出した  
山のようなおしめをたたんでいま  
した。



献血推進活動（写真は S44 年の献血の様子）

足守町では、他の地域に先がけて、S38 年から献血が始まりました。  
今でも多くの方に協力して頂いています。



### 愛育塔について

岩田子供園 30 周年記念に当たり、昭和 58 年に愛育の塔が建設され  
ました。

愛育の塔は、これからの山村に愛育の灯を消すことなく愛育の光が  
輝き続くことを願って建設されたのでございます。

後輩の私達は、その意を心として受け継いでいきたいと思ひます。

岩田地区愛育委員一同

昭和 60 年 ~ 平成 10 年

活動の変遷	成人病（現/生活習慣病）への取り組みを強化する。 愛育訪問により老人保健法に基づく検診をすすめる。 禁煙運動を推進する。 エイズの正しい知識普及を図る。 昭和 63 年からかしお園との交流が始まる。 平成元年から『愛育だより』を発行する。
社会的背景	高齢化社会が進展するなかで、健康づくりへの関心が高まった。 平成 6 年に岡山市へ保健所が移管された。



H 元年 岡山市保健衛生大会  
 手作りの衣装と振り付けで県民体操をしました。



かしお園との交流会  
 (上) 受付風景  
 (右) 高島屋提供の衣装での  
 ファッションショー





(左・下) かしお園お花見会  
愛育委員会が感謝状をいただきました。  
(左下) かしお園玄関



H3 年 岡山市愛育会長研修会を近水公園吟風閣で行いました。  
かしお園にも協力して頂いて手作り弁当が並びました。



平成 11 年～現在

<p>活動の変遷</p>	<p>生活習慣病・がん等による死亡が増加しているうえ、結核が微増しているため、いっそうの検診受診を勧める。 精神障害者への理解と心の健康のための取り組みを始める。 第二すみれ保育園（子育て支援センター）との交流が始まる。 平成 14 年 9 月に北市民健康づくり足守会議が発足する。 近水ウォークとの合同ウォークが始まる。</p>
<p>社会的背景</p>	<p>平成 10 年に岡山市北保健センターが開設された。 平成 12 年に介護保険制度が始まった。 平成 15 年 1 月に健康市民おかやま 2 1 が策定された。 少子高齢化がますます進む。</p>



H16/17 年  
岩田の子供たち  
と七夕会

H18 年 岩田の子供たちと  
お花作り





(上・右・下)  
大井児童館  
手作りのうちわシアターで歯  
みがき指導



大井児童館全景





## 過去の総会資料から

### 住民検診結果（昭和47年度）

昭和47年度 住民検診結果

地区	問 接			示 検 診 者 内 訳						対象者 人数	受診率
	市 東 部	その他 東 部	合計	疾 行 不 能	妊 婦	療 育 院	治 療 中	その他	合計		
尾 寺	916	32	948	61	8	28	0	115	212	1,160	81.7
大 井	757	15	772	47	3	12	3	72	137	909	84.9
日 進	607	22	629	40	6	6	3	20	75	704	89.3
岩 田	453	12	465	28	2	5	1	32	68	533	87.2
櫻 井	1009	11	1020	70	1	12	6	57	146	1,166	87.5
合計	3,742	92	3,834	246	20	63	13	296	638	4,472	85.7

直 接 130 人、 { 受診できは口人 342 人  
 検診をしなくてはいけな口人 4,130 人  
 受診率 92.8 %

岡山市との合併（昭和46年）直後の昭和47年度住民検診の結果です。  
 受診率が92.8%と非常に高く、頻繁に他の地域から視察があったそうです。

### 表紙と愛育委員の心得（昭和60年度）

昭和60年度  
**足守地区愛育委員会総会**

とき 昭和60年5月16日(木)  
 ところ 足守公民館



三、われらのいとこに  
 希望をさげなく  
 愛育委員は深く  
 世の招きとふりか  
 世の招きとふりか

二、検査にいろいろ母や  
 明るい明日の  
 愛育委員は  
 世の幸をよみつけ  
 世の幸をよみつけ

一、育の跡にもまざる  
 育のゆき命  
 愛育委員は  
 世の花と咲くつ  
 世の花と咲くつ

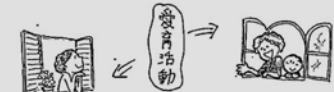
岡山県愛育委員の歌

**愛育委員会とは**

だれもが健康で家族みんなが明るく、いきいきと暮らしたい。  
 こうした願いをもつ婦人たちの手で、より健康な生活をしてい  
 くためにはどうしたらよいか、自主的に健康に関するいろいろ  
 な問題をとり上げ、その解決のために、考えあい、相談し、話  
 しあって行動してゆたかな地域づくりをする組織です。

**わたしたちのルール**

1. 自分や家族が健康ですごせるようにつとめます。
2. 地域のみさんから、喜ばれる活動ができるよう学習につとめます。
3. 活動の中で知った個人や家庭の事情は、他に話しません。
4. 保健医療の指導と異なることはしません。
5. 政治、宗教活動や特定の利益を目的とした活動は、愛育委員活動の中へ持ち込みません。
6. 常に地域のみさんの立場を尊重し、愛育委員の一員として、自分の行動に責任を持ちます。



昭和60年代には、手書きのイラストなどオリジナリティあふれる表紙が多かったようです。また、『愛育委員会とは』や『私たちのルール』からは、当時の委員の意識の高さがうかがえます。

## 献血の推進

足守地区では、他の地域に先駆けて献血への呼びかけを始めました。これは、昭和38年頃に心臓手術のために大量の輸血が必要な方がおられて、地域の住民に献血を呼びかけたのが始まりです。

それ以来、地域の皆さんに協力を頂きながら献血推進活動を進めています。この活動が評価され、厚生大臣感謝状、厚生大臣表彰を受賞しました。



S53年 厚生大臣感謝状受賞



H4年 厚生大臣表彰受賞



### 日本の献血事業のあゆみ

- S27年 日本赤十字社血液銀行東京業務所が開設され、血液銀行がスタートした。
- S37年 『黄色い血』追放キャンペーンが起き、血液事業改善への第一歩が始まる。
- S50年 『第1回はたちの献血』ラジオキャンペーン開始。
- S61年 成分献血、400mL献血が導入される。  
輸血による感染が問題となっているエイズウイルス等の検査を開始。
- H11年 一層の安全性向上を目指し、世界に先んじてNAT（核酸増幅検査）をHIV、B型、C型肝炎ウイルスに対して開始した。
- H15年 『安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律』施行

### 岡山県の重点推進項目

- 10代、20代をはじめとした若年層及び女性層への献血の拡大
- 400mL献血及び成分献血の安定確保
- 高校生への献血知識の普及
- 地区組織等との連携による『地域ぐるみ』『職域ぐるみ』の献血推進等

## 愛育だより

『愛育だより』は、足守の愛育委員の活動を地域の皆さんにもっと知っていただくことをねらいに、平成元年から平成9年まで16号が発行されました。


当初はB4版の片面印刷のものを年1回発行していましたが、途中から両面印刷で発行も年2回になり、充実した内容となりました。

検診や健康情報などのお知らせに加えて、90歳以上の元気な高齢者の方を紹介する『元気で長生き』のコーナーがあり、人気を博していました。



平成10年に全市的な愛育活動の情報誌『あい』の発行が始まり、足守地区愛育委員会が発行していた『愛育だより』は『あい』に引き継がれることになりました。

この『あい』は年3回発行され、愛育委員の手によって、各戸に配布されています。



健康で豊かな生活をめざす  
愛育活動の情報誌

発行 岡山市愛育委員協議会

事務局 〒700-8546 岡山市東田町1-1-1  
岡山市保健福祉会館2階

TEL.086-803-1263 FAX.086-803-1756

2005.10

23

# 愛育だより

第1号

平成元年 8月

足守地区  
愛育委員会

創刊によせて

日近地区 荳野輝子

暑さも一段ときびしくなっています。いかがお過してごいますか。

お伺い申し上げます。

さて、この度「愛育だより」を発行することになり、愛育委員会を立ち上げたいと思っております。

私達愛育委員は地域のオタ(赤い心)からおとしより)がより健康で明るく過されるための行政のパイプ役として、ボランティア活動をさせていたいております。

私達一人々々の小さな力が集まれば、少しでも健康で幸せな地域へのお役に立てばと願っております。

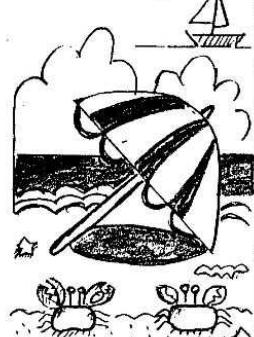
愛育委員はこんな活動をしています。

- ① あらゆる検診への協力  
結核 肺がん 胃がん 乳がん 子宮がんの検診。 基本健康診査
- ② 育児相談、乳幼児健診を通じて「母子クラブ」育成。
- ③ 「憩いの丘」かしの園への奉仕
- ④ 健康に関する研修会への参加
- ⑤ 定例愛育委員会への参加



回らん

皆様方のご協力とご理解を得ながら頑張っていますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



福谷の愛育活動

福谷学区 津嶋静子

戸数470戸、人口1725人で、美しい静かな環境に恵まれた福谷に愛育委員29名で、一人当たり1.7戸、ク戸を担当して頑張っています。

愛育委員の重要目標

- ・すべての検診を勧めましょう。
- ・赤らんは母乳で育てましょう。
- ・活動を勧めるため(愛育だより)を発行

右の目標はなかなか実行出来ていませんが私達愛育委員は健康で明るい社会を作る目的で、育児相談、乳幼児健診、成人病検診など呼びかけ、取組んでいます。なかには検診も都合で受けて下さらない方もあって思い通りに出来ていませんが自分の生涯に渡る健康作りだからと、話し合い、検診を勧めています。検診の前々日、ごうごうには訪問するか、電話で声かけ等して一人でも多くの方を受診して頂くよう工夫しています。毎月第三木曜の育児相談、年三回の地区委員会、研修会など、保健婦さんのわかり易いご指導も自分自身のこととして勉強し、早期に病気を発見して、楽しく健康に過ごして頂くよう声かけをしてゆきたいと思っております。

皆様の理解とご協力をお願いいたします。

(ご案内) かしのついでに、健康と長寿はめざして、毎月一回(かしのついで)で開催されます。参加されたらいいかな。



のびのび教室 に参加して

大井学区 本田敏子

七月十三日 第一回「足守地区健康増進教室」のびのびの開講式です。参加者は雨のためか、約三十名、年令は四十才(ハチオオ?)、最初は照れくさかったのか顔も真剣! 何人か歩いていき同に和やかに前向きに挑戦してました。腰痛、肩こり予防体操と進行して行く内、外は雨だった。が室内では歓声が上っていた。黒豆ご飯、小魚の甘酢漬も試食して解散。今日の自分に何かプラスがあった様に思う。

胸部レントゲン検診

受診率 岡山市ナバー1

受け忘れず

8月25日(金)

今年の受診数 3,048人

後日愛育委員お知らせ(封)

保健婦より 足守支所 坂本登子

「高根科手一皿分の千切りトウモロコシの一日に食べてよい果物の目安です。」

日中は暑く、こぼれを食べん、牛乳は冷たい、冷たい水、冷たいお茶、冷たい麦茶を冷



## 現在の活動

### 足守5地区愛育委員会

現在、足守中学校区内の5つの愛育委員会(足守、大井、岩田、日近、福谷)は、それぞれが独立した愛育委員会であり、それぞれに岡山市愛育委員協議会に加入しています。

昭和26年4月に、当時の足守町、大井村、日近村、岩田村、福谷村それぞれに愛育委員会が発足しましたが、昭和31年の5か町村合併により、その後の昭和33年に5愛育委員会がいったん統合されました。さらに岡山市への合併を機に、昭和46年10月に岡山市愛育委員連絡協議会に加盟しましたが、平成6年4月、岡山市への保健所移管を機に組織の充実と強化を図るため、再び5地区に分離して、それぞれの地区が岡山市愛育委員連絡協議会に加盟することになったものです。

しかしながら、5地区の愛育委員会は、足守中学校区全体の愛育活動を進めていくため、伝統的に5地区全体で総会を開催したり、研修会や講演会、移動研修を企画実施するなど、連携を深め、協力しながら活動にあたっています。そのため、5地区の会長と副会長からなる幹事会を定期的で開催して5地区全体の運営を話し合っています。



平成19年度幹事会  
(各地区会長・副会長)

### 足守5地区愛育委員会組織

(委員数計119名)

幹事会(各地区の会長・副会長)(10名)

足守地区	大井地区	岩田地区	日近地区	福谷地区
(33名)	(25名)	(14名)	(15名)	(32名)
会長(1名)	会長(1名)	会長(1名)	会長(1名)	会長(1名)
副会長(1名)	副会長(1名)	副会長(1名)	副会長(1名)	副会長(1名)
書記(1名)	書記(1名)	書記(1名)	書記(1名)	書記(1名)
会計(1名)	会計(1名)	会計(1名)	会計(1名)	会計(1名)
監査(1名)	監査(1名)	監査(1名)	監査(1名)	監査(1名)

目 標 健康市民おかやま 21 をみんなで進めていきましょう。  
母と子及び老後への健康づくりを進めましょう。

主体活動（身近な健康問題を解決するために自分たちで計画実践する活動）

総 会	前年度の活動報告と今年度の活動計画を協議（4月）
幹 事 会	2か月に1回、5地区の会長副会長が集まり足守全体の計画を協議
地 区 委 員 会	それぞれの地区で開催（6月，8月，3月）
研 修 会	総会の日と2月に開催
ウ ォ ー キ ン グ	近水ウォークと合同で年1回実施
移 動 研 修	研修と親睦目的に年1回実施
ボ ラ ン テ ィ ア	憩いの丘でのおしめたたみ（昭和48年から）を各地区持ち回りで毎月実施
健康市民おかやま 21	健康市民おかやま 21 足守会議への参画



総会の様子

岡山県愛育委員の歌斉唱



幹事会の様子



地区委員会の様子




研修会の様子  
ピドスコープで足裏測定




福谷文化祭でのパネル展示  
健康市民おかやま21 足守会議で作成した  
パネルを展示

✕

モ


健康市民おかやま21

生活習慣の改善を図り、がんや脳卒中等の生活習慣病を予防する等によって、すべての市民が健康で自分らしく生きることができるよう、市民が主体的な健康づくりに取り組むための指針として、平成15年1月に策定した計画です。





ウォークの様子 (左・右)



合同ウォーク (H17年岩倉公園)

協力・共同活動（行政や他の組織の行う保健活動への協力活動）

各種健(検)診	お知らせの回覧、検診票の配布、受付（6月から11月）
献 血	呼びかけと受付
育 児 相 談	受付と測定の手伝い（大井老人憩の家で毎月1回）



献血の様子  
献血車（左）と献血受付（右）（足守公民館会場）

委託活動（市から委託を受けて行う活動）

胸部レントゲン	案内と検診票配布、当日の受付手伝い、健康手帳の発行
胃レントゲン	健康手帳の発行
『 a i 』配布	6月，10月，2月の年3回愛育活動の情報誌配布



胸部レントゲン 検診車（左）と受付（右）（足守公民館会場）

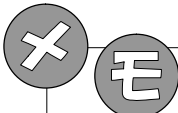


その他の活動

おやこクラブ (かめさんクラブ)	足守・大井学区のひよっこクラブ、高田・福谷学区のぴよんぴよんクラブ合同の講演や実習の際に託児を行う。
大井児童館	うちわシアターによる歯みがき指導などメロンクラブとの交流を行う。
第二すみれ保育園 ふれあい子育て支援センター	入園前の親子を対象に、お手玉づくりやおもちゃづくりなど年2回交流を行う。
岩田	七夕会、手芸の会、お花作りの会等を開いて子供に来てもらい、親睦を深めている。
福谷	幼稚園、入園前の親子を対象に、婦人会とともに交流を図っている。



大井児童館 歯みがき指導の様子



おやこクラブ

子どもたちの豊かな心と健康な体を育てるために、子育ての喜びや悩みを共感し、学びあう親子の仲間づくりと健康づくりをすすめていくクラブです。就園前の子どもとその保護者なら誰でも入会できます。

小学校区にほぼ1つのおやこクラブがあり、定例会を開催したり、お便りを発行したりしています。



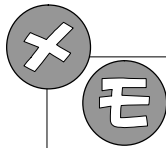
岩田での交流  
手芸の会



福谷での交流  
大きな絵本を読んでいるところ



第二すみれ保育園ふれあい子育て支援センター  
親子でお手玉づくり



### 子育て支援センター

子育て支援センターとは、保育園を地域の子育て支援拠点として、入園している子どもだけではなく、在宅で子育てをしている親とその子どもを支援する拠点のことで、地域の子育て中の家庭に対して、育児相談を受けたり、園庭開放で遊びの場を提供したり、一時保育を行うなど各保育園の特色を活かした育児支援を行っています。



第二すみれ保育園ふれあい子育て支援センター  
子供たちとの交流

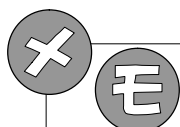


## 環境衛生協議会の活動

啓 発 活 動	『環境のひろば』『衛生だより』の回覧
ク リ ー ン 作 戦	地域の人と一緒に空き缶・空きビンなどのごみ拾い
不 法 投 棄 対 策	ごみの不法投棄の監視、通報
環 境 衛 生 活 動	殺鼠剤の配布
移 動 研 修	研修と親睦を目的に年 1 回実施



クリーン作戦 町内会・青少年育成協議会（旧保導協）と共催



### 環境美化クリーン作戦

足守地区環境衛生協議会では、毎年 11 月 23 日の『勤労感謝の日』を統一日として、連合町内会、青少年育成協議会と共催でクリーン作戦を実施しています。

子どもから高齢者まで大勢の参加者により、道路や側溝などに落ちている空き缶などのごみを拾い集めるなど『美しい足守』の実現に努めています。



移動研修（H17年のHIRAKINリサイクルファーム御津）

## 平成 18 年度保健事業報告

### 協力委託事業

< 赤ちゃんすこやか相談（育児相談） >

日時：第 1 金曜日（受付時間）10:30～11:00 場所：大井老人憩いの家

愛育委員の役割：受付・測定

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	2月	3月	合計
来所者数	2	1	4	4	7	6	2	1	2	1	30
（実数）	(2)	(1)	(2)	(2)	(2)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(10)

### 《内訳》

発育状況 （延べ数）			3 か月未満の栄養 （実数）			幼児	発育状況 （延べ数）		
大	中	小	母乳	混合	人工		大	中	小
1	29	0	7	3	0	1	0	1	0

< 健康づくり・健康教育 >

### 地区衛生教育

内 容	月 日	人 数
総会研修会 『介護保険制度について』岡山市介護保険課 係長 三谷 育生	4月18日	89人
愛育・近水合同ウォーク 『鬼ノ城』 運動指導員 中山 和佳子	10月18日	17人
愛育委員研修会 『健康は足の裏から』 運動指導員 片山 敦子	2月8日	32人

### 北市民健康づくり足守会議関係

内 容	月 日	日 数
福祉交流プラザ大井主催研修会 『健康チェックと楽しい健康体操』 運動指導員 赤堀 静枝・片山 敦子	3月16日	37人

< 献血 >

愛育委員の役割：受付・お知らせ回覧・ポスター展示

日 程	場 所	受付数	献血者数
9月25日	福谷コミュニティハウス	7人	6人
	足守公民館	17人	12人
	合 計	24人	18人

< 胃がん検診 >

愛育委員の役割：お知らせの回覧・検診票の配布・受付・健康手帳交付

日 程	場 所	受診者数	
		18年度	17年度
9月15日	J A岡山福谷支所	19人	16人
9月20日	日近公民館	28人	30人
9月21日	足守公民館	43人	47人
合 計		90人	93人

< 胸部レントゲン >

愛育委員の役割：お知らせの回覧・検診票の配布・受付・健康手帳交付

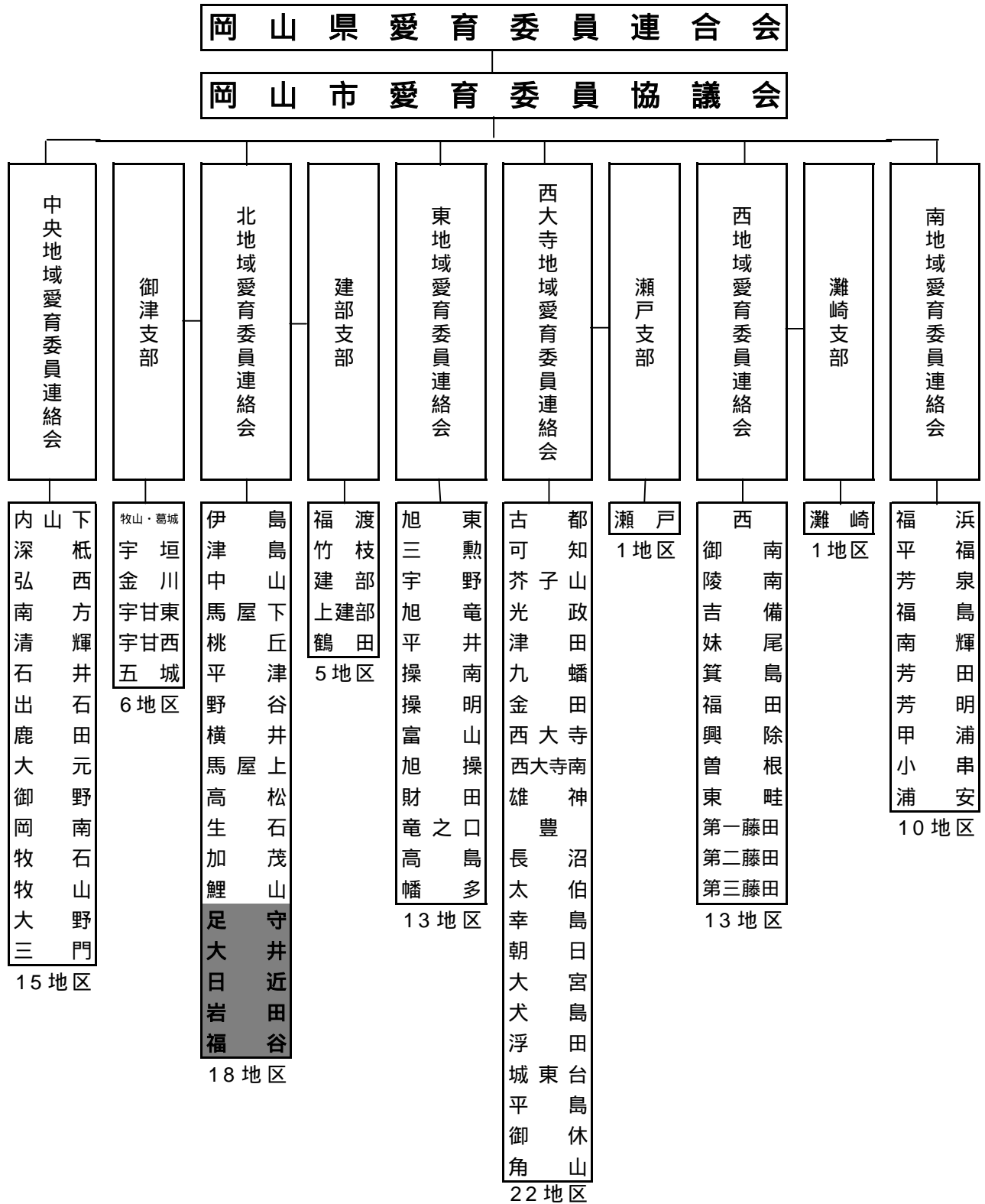
年度	足守	大井	福谷	高田	合計
18年度	212	112	128	160	612
17年度	294	124	151	161	882

< 基本健康診査・各種がん検診 >

	年度	基本健康診査	胃がん検診	大腸がん検診	子宮がん検診	乳がん検診	肺がん検診
足守	18年度	493	322	390	75	77	609
	17年度	475	335	383	56	66	632
大井	18年度	246	213	211	43	52	318
	17年度	244	199	224	37	57	352
福谷	18年度	254	226	205	21	21	355
	17年度	262	233	215	17	19	369
高田	18年度	309	222	232	23	29	427
	17年度	310	233	229	16	25	439
合計	18年度	1302	983	1038	162	179	1709
	17年度	1291	1000	1051	126	167	1792

# 岡山市愛育委員協議会組織図

(平成19年度)



平成18年度  
 組織 . . . . . 1協議会 98単位組織  
 総委員数 . . . . . 5,320人(H18.6.1)  
 1人平均受持世帯数 . . . 51.3世帯

この『 地区愛育委員会規約』は、足守、大井、岩田、日近、福谷というそれぞれの地区愛育委員会の規約です。5地区とも同様の規約であることから、表題、第1条及び第2条の『 』部分に、それぞれの地区名（足守、大井、岩田、日近、福谷）を入れて読み替えてください。

## 地区愛育委員会規約

### 第1章 総 則

#### <名称>

第1条 この会は岡山市 地区愛育委員会（以下「委員会」という。

#### <構成>

第2条 本会は 地区愛育委員をもって構成する。

#### <目的>

第3条 本会は、会員相互の連絡提携を計り、その活動を効果的に促進させることにより、市民の健康と福祉増進に寄与することを目的とする。

#### <事業>

第4条 本会は、前項の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 愛育委員の研修に関すること。
- (2) 愛育委員会の運営に関すること。
- (3) 母子保健を基礎とした生涯に渡る健康づくり全般に関すること。
- (4) その他本会の目的達成に関すること。

#### <役員>

第5条 1. この会に下記の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 書記 1名
- (4) 会計 1名
- (5) 監査 1名

2. 役員は委員中より選出する。

3. 役員の任期は2年とし、新任の場合前任者残任期間とする。

ただし、再任は妨げない。

#### <職務>

- 第6条
1. 会長は委員会を代表し、会務を総括する。
  2. 副会長は会長を補佐し、会長事故ある時はその職務を代理する。
  3. 書記は委員会の書記を掌る。
  4. 会計は委員会の会計事務に従事する。
  5. 監査は会計の監査にあたる。

### 第2章 会 議

#### <会議>

第7条 総会は委員会の最高決議機関で毎年1回開催しその招集は会長が行う。  
ただし委員の3分の1以上が要求したときは臨時に開催することができる。

2. 総会の審議事項は次のとおりとする。

(1) 事業報告を承認すること。

(2) 事業計画を定めること。

(3) 役員を選任に関すること。

(4) 会則の改廃に関すること。

(5) その他 委員会の目的達成に必要なこと。

第8条 会議(地区委員会)は会長が必要と認められた時招集する。

### 第3章 事務局と会計

<事務局>

第9条 委員会の事務を処理するため事務局を会長宅に置く。

2. 事務局に書記および会計を置き会長が任命する。

<会計>

第10条 委員会の経費は補助・助成金及び事業収入その他をもってあてる。

会計年度は4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

<その他>

第11条 その他 委員会の運営について定めのない事項は会長が定める。

<規約の改廃>

第12条 この規約は委員会の決議によらなければ改廃することができない。

<付則>

この規約は、平成6年5月11日より施行する。

### 足守愛育委員会申し合わせ事項

1. 足守支所管内の5愛育委員会の親睦と運営を円滑に進めるため、幹事会を置く。

2. 幹事会は5地区の会長、副会長をもって構成する。

3. 役員

(1) 代表 1名

(2) 補佐 4名

(3) 会計 1名

(4) 書記 2名

(5) 監査 2名

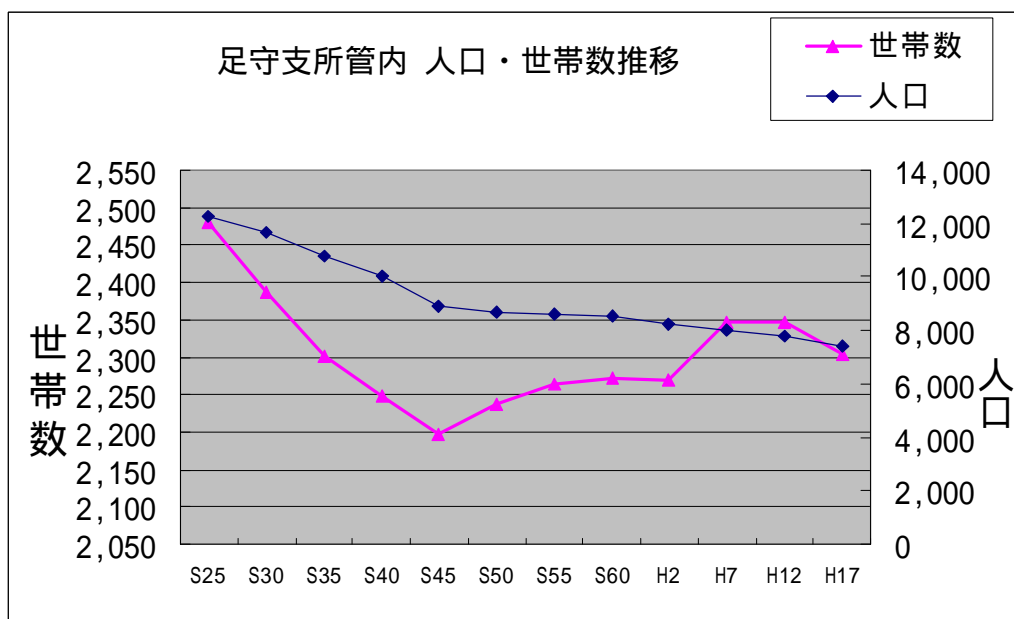
4. 会計は必要経費を各地区より徴収する。



## 足守支所管内 人口・世帯数推移

年次	人口	世帯数
S25	12,243	2,480
S30	11,682	2,388
S35	10,789	2,301
S40	10,002	2,249
S45	8,941	2,198
S50	8,692	2,236
S55	8,596	2,265
S60	8,508	2,273
H2	8,207	2,270
H7	8,027	2,346
H12	7,755	2,347
H17	7,446	2,303

国勢調査の数値による（調査基準日 10月1日）



### 現在の足守中学校区の状況（H18.12末現在）

	人口	世帯数	乳児数	乳児指数	高齢者数	高齢化率
足守地区	3,012	1,068	18	5.9	786	26.8
大井地区	1,578	694	6	3.8	482	30.5
福谷地区	1,381	502	4	2.8	532	38.5
高田地区	1,597	608	7	4.3	641	40.1
合計	7,568	2,869	35	4.2	2,441	33.8

## 記念誌の発行を祝して

岡山市立鹿田幼稚園長（前岡山市足守支所長） 森 眞代

足守5地区愛育委員会の創立55周年を心よりお慶び申し上げます。また、愛育委員としてご尽力されました方々からのメッセージで作成される『記念誌』の発刊、誠におめでとうございます。

昭和26年の発足から55年間、地域を愛する一人一人が愛育の精神を引き継がれたことが足守地区の今日に至っていることを心から敬意を評します。

私と愛育委員の方々との出会いは、平成15年に足守支所長代理として勤務させていただくようになった年の4月に支所の会議室で総会資料を作っておられた役員の皆様方とでした。総会当日、全員で歌う愛育委員会の歌「愛育委員は世の光、世の守り、世の力」という歌詞に心打たれ、本当に地域のために頑張っておられる皆様方と足守支所が連携して、地域の一人一人が安全に、また健康で暮せるための活動の大切さを痛感しました。また、殺鼠剤や害虫駆除の乳剤配布等、環境衛生協議会も兼ねて取り組んでいることは足守地区ならではの取り組みであると感じました。

3年間の足守支所での勤務、そして支えていただきました地域の皆様方との出会いは、何にも代えがたい私の生涯の宝物です。

地道ながら、本当に素晴らしい足守の愛育活動を後世に伝えていただきたい、との思いから、僭越ながら記念誌の発行を提案させていただきました。

足守地域も少子高齢化が進み、人口も減少していますが、時代が変わっても変わることのない愛育の心をもち続け、これからも地域が一丸となって住みよいまちづくりに取り組んでいただきたいと思います。

足守5地区愛育委員会のますますのご発展をお祈り申し上げます。



## 編集後記

長年の地道な活動を、「今残しておかなければ」の気持ちで始めた記念誌作りですが、半世紀を超える活動を振り返るのは、なかなか容易ではありませんでした。確かな記録も少なく、準備期間もないまま始めてしまいましたので、ずいぶんと難航いたしました。それでも、古くからの委員の記憶を頼りに、多くの方々のご支援・ご協力をいただき、遅ればせながら完成することができました。

自分の健康は自分で守らなければならなくなった昨今、愛育活動にはますますの期待が寄せられています。この記念誌が単なる記録にとどまらず、愛育委員会とは何か・愛育委員として何をしていくべきかを考える資料になることを願っています。

最後に、この『55周年記念誌』の発行にあたり、ご寄稿くださった方々や貴重な写真、古い資料を探し出してくださった方々等、数多くの皆様方に厚くお礼申し上げます。

### 編集委員

足守地区	赤木 多喜子・福田 瑞江
大井地区	本田 敏子・林 淑子
日近地区	荒木 典子・黒崎 博子
岩田地区	林 恒子・神原 京子
福谷地区	西山 きよ子

### 協 力

岡山市保健所北保健センター 野口 福子  
岡山市足守支所 植月 康之



表紙：『近水園と吟風閣（切り絵）』後藤晴美さん作

発行 平成 20 年 3 月

足守 5 地区愛育委員会（事務局：岡山市保健所北保健センター内）

〒700-0071 岡山市谷万成二丁目 6-33

Tel：086（251）6515 FAX：086（251）6516